

創建1200年記念特別展「神護寺—空海と真言密教のはじまり」

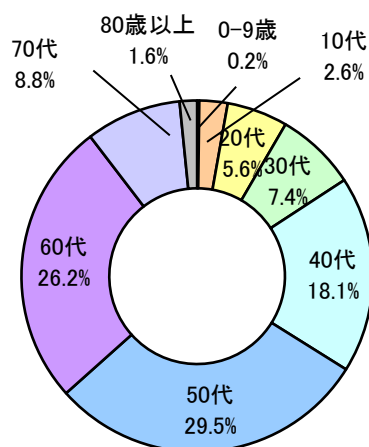
アンケート集計結果

令和6年7月17日（水）～9月8日（日）（47日間）

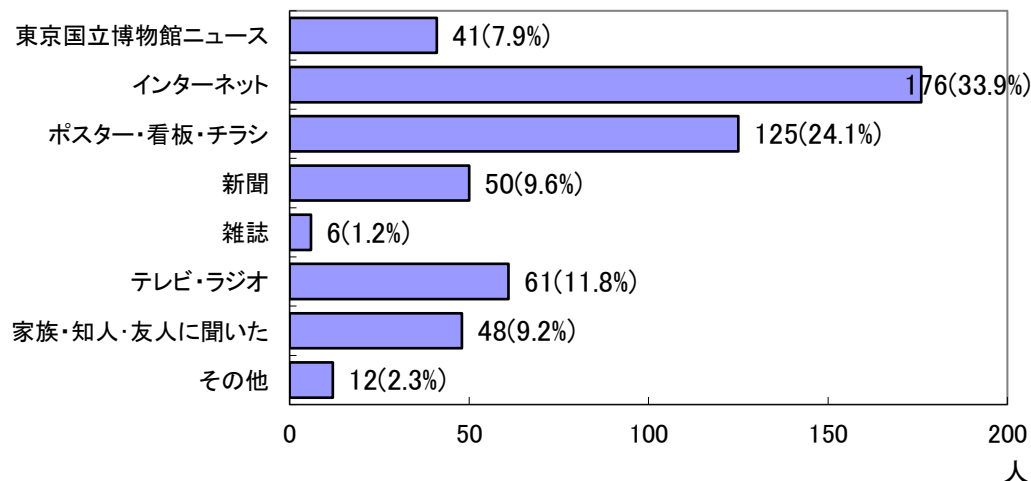
総入館者数：181,763人

回答者数：432人

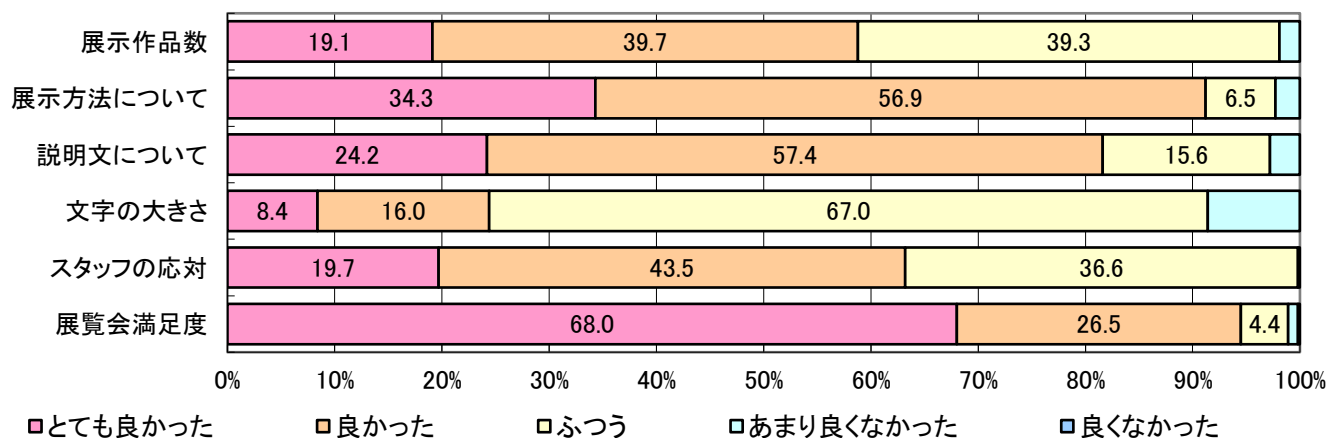
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ▶最後の展示室の薬師如来立像を360度から見られる展示がよかった
- ▶五大虚空蔵菩薩坐像・十二神将立像のライティングがとてもよかった
- ▶曼荼羅のような細かい作品を映像で拡大して見られるのがよかった
- ▶人は多かったが見やすかった
- ▶神護寺に行きたくなった
- ▶展示室内が寒かった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	1.9	0.0
展示方法	2.3	0.0
説明文	2.8	0.0
文字サイズ	8.6	0.0
スタッフの対応	0.2	0.0
展覧会の満足度	0.9	0.2

(%)

本展は、神護寺の開山1200年を記念し開催された特別展です。会期中、連日の猛暑や悪天候による臨時休館もあったにもかかわらず、18万人超のお客様にご来場いただきました。

ご覧になったお客様からは、「本尊の薬師如来立像が見られて良かった」「混雑している割に見やすかった」など展示構成全般において好評をいただいたほか、最終展示室での仏像展示におけるライティング・影の美しさには特に多くのご感想が寄せられました。

「映像で解説する高雄曼荼羅」のコーナーにおいては、わかりやすい解説に努め、作品の理解に役立つとの声を頂きました。全体的に見やすい展示であったなど、展覧会全般に対する好意的なご感想が多く寄せられ、94%の高い満足度をいただく結果となりました。

今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境、来館者サービスの向上に努めてまいります。